
独占

村崎 駒数

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

独占

【Zマーク】

N1678M

【作者名】

村崎 駒数

【あらすじ】

恋した人が死んでゆく。少年はそのなかで、あるもの求めめるようになつた。

僕の初恋は小学校の3年生だったな。

長い黒髪がかわいい子だった。

けど、交通事故で死んじやつたんだ。

もう、10年近く前の話だけどね。

その子が死んだショックからしばらく立ち直れなかつた。

でも、1年ほど経つた頃、また素敵な子が現れたんだ。

転校してきた子で、活発な子だった。

僕は勇気を出して、川と一緒に遊びに行つたんだ。

とても楽しかつたよ、彼女が溺れちゃうまでは。

大人を呼んでくるのに時間がかかつて、また死んじやつたんだ。

それから、中学に入るまで人を好きになれなかつた。

また死んじやうと思つていたから。

でも、中学2年になつたとき、クラスが一緒になつた子が好きになつたんだ。

今までの一目惚れだつたけど、このときはそつじゃなかつた。

2ヶ月ぐらい、同じクラスにいて、とても大人しい子だ。

けれど誰よりも優しい子だと知つて好きになつたんだ。

でも、僕は呪われてた。

その子は、自殺しちやつたんだ。

いじめられてて、耐えられなかつたんだつて。

遺書が僕宛に見つかつて、そのことを知つた。

僕は心を開きそうとしていた。

でも僕は気づいたんだ。

自分の独占欲が強くなつてること。

それが、彼女たちの死によつて満たされていること。

僕はどうぜん苦しんだよ。

人が死んでるのに、それで自分の欲求を満たしていたんだ。

罪悪感に押しつぶされそうになつた。

僕は押さえようとした。

けど、人の欲求は強く、しつこく、終わりがない。

手に入れれば入るほど、次が欲しくなる。

僕は人を好きにならないよう、人との関わりを捨てようとした。

でもそんな僕に、また誰かが優しくしてくれる。

普段、人と関わらないと少しの優しさに恋をしてしまう。

そして、その子を、その優しさを自分だけのものにしたくなる。

他人に触れさせないためには、そうするしかなかつた。

そうすれば、彼女は永遠に僕のものだ。

そんなことを何度も繰り返したんだろう。

でも僕はもう終わりにしたい。

だから、僕は20歳で死のうと思つていた。

それまで、人の優しさに触れないようこじょつと思つていた。

それなのに、君が現れた。

僕に手をさしのべた。

僕の独占欲は、自分の死を前にして、共に逝くものを探していたんだ。

君は誰にも渡さない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1678m/>

独占

2010年10月9日23時28分発行